

犯罪被害に関するアンケート調査結果

県民生活課

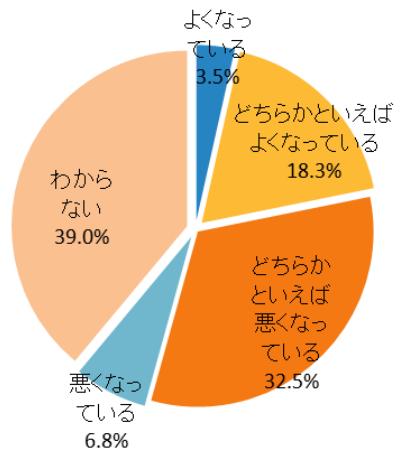
1 調査の目的

県では、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に向けた取組みを進めており、今後の施策展開の参考とさせていただくため、県民の皆さんのが犯罪被害に関するご意見を伺いました。

2 調査結果

問1 あなたがお住まいの地域における治安は、5年前と比べてよくなっていると思いますか。それとも悪くなっていると思いますか。

	回答数	割合
よくなっている	27	3.5%
どちらかといえばよくなっている	141	18.3%
どちらかといえば悪くなっている	250	32.5%
悪くなっている	52	6.8%
わからない	300	39.0%
計	770	100.0%



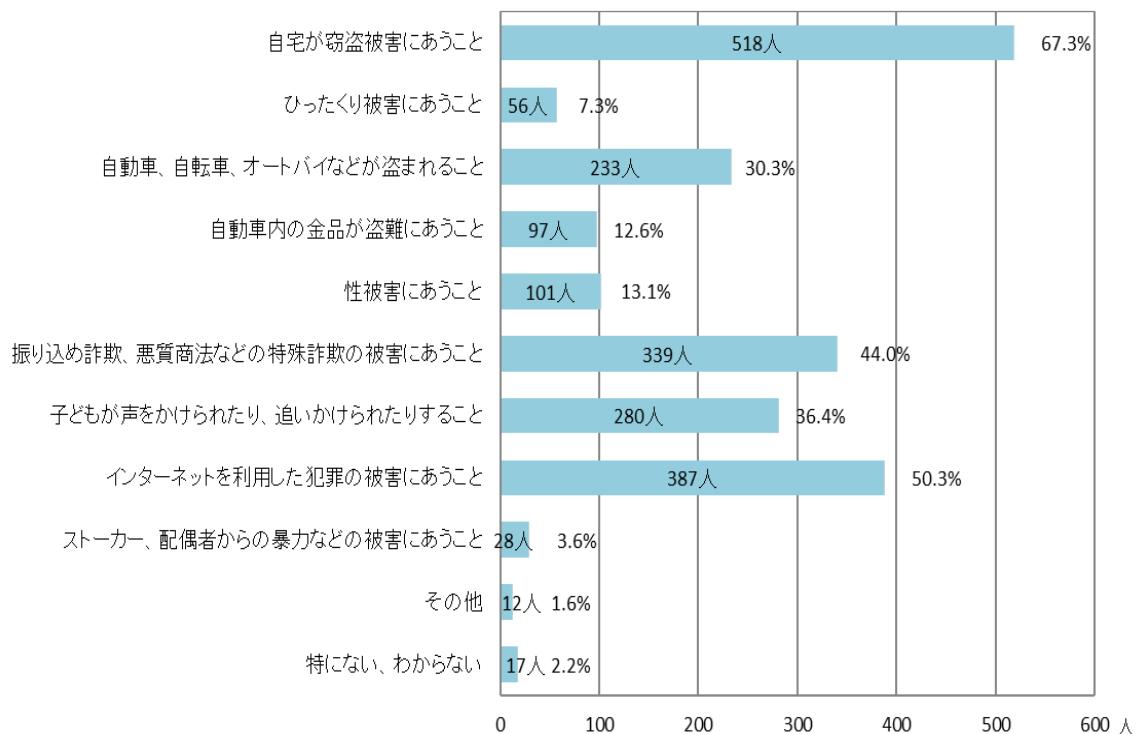
問2 身近に起こり得る犯罪被害のうち、あなたが、特に不安に感じているものはどれですか。 (3つまで複数回答／回答者770人)

	回答数	割合
自宅が窃盗被害にあうこと	518	67.3%
ひったくり被害にあうこと	56	7.3%
自動車、自転車、オートバイなどが盗まれること	233	30.3%
自動車内の金品が盗難にあうこと	97	12.6%
性被害にあうこと	101	13.1%
振り込め詐欺、悪質商法などの特殊詐欺の被害にあうこと	339	44.0%
子どもが声をかけられたり、追いかけられたりすること	280	36.4%
インターネットを利用した犯罪の被害にあうこと	387	50.3%
ストーカー、配偶者からの暴力などの被害にあうこと	28	3.6%
その他	22	2.9%
特がない、わからない	17	2.2%
	2,078	

※「その他」の意見

通り魔のような犯罪

道路交通法違反による事故 など

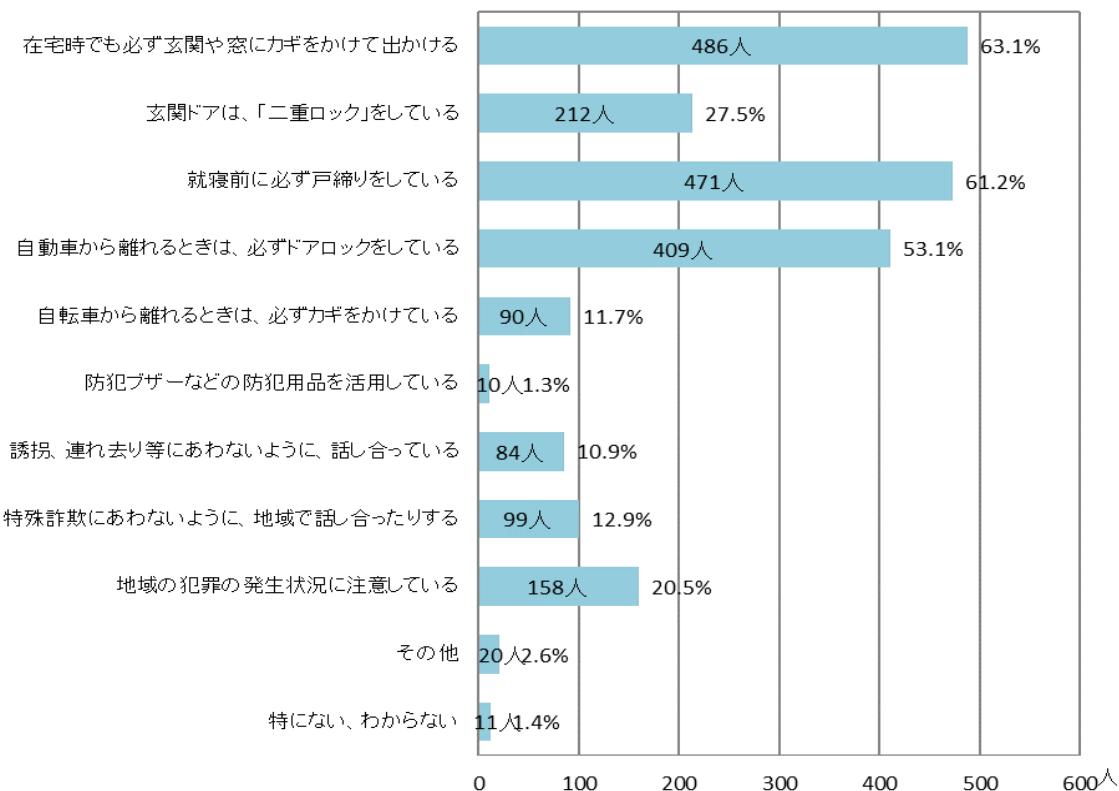


問3 あなたは、犯罪被害にあわないように、日頃から特にどのようなことを心がけていますか。（3つまで複数回答／回答者770人）

	回答数	割合
在宅時でも必ず玄関や窓にカギをかけて出かける	486	63.1%
玄関ドアは、「二重ロック」をしている	212	27.5%
就寝前に必ず戸締りをしている	471	61.2%
自動車から離れるときは、必ずドアロックをしている	409	53.1%
自転車から離れるときは、必ずカギをかけている	90	11.7%
防犯ブザーを携帯し、自転車の前かごにひったくり防止ネットをつけるなど、防犯用品を活用している	10	1.3%
誘拐、連れ去り、性被害等にあわないように、家族で話し合っている	84	10.9%
特殊詐欺の被害にあわないように、家族や近所、自治会で話し合ったりするなど注意を呼びかけている	99	12.9%
地域の犯罪の発生状況に注意している	158	20.5%
その他	20	2.6%
特になく、わからない	11	1.4%
	2,050	

※「その他」の意見

車のハンドルにロック部品を付けている
防犯カメラを室外、室内に設置している　など

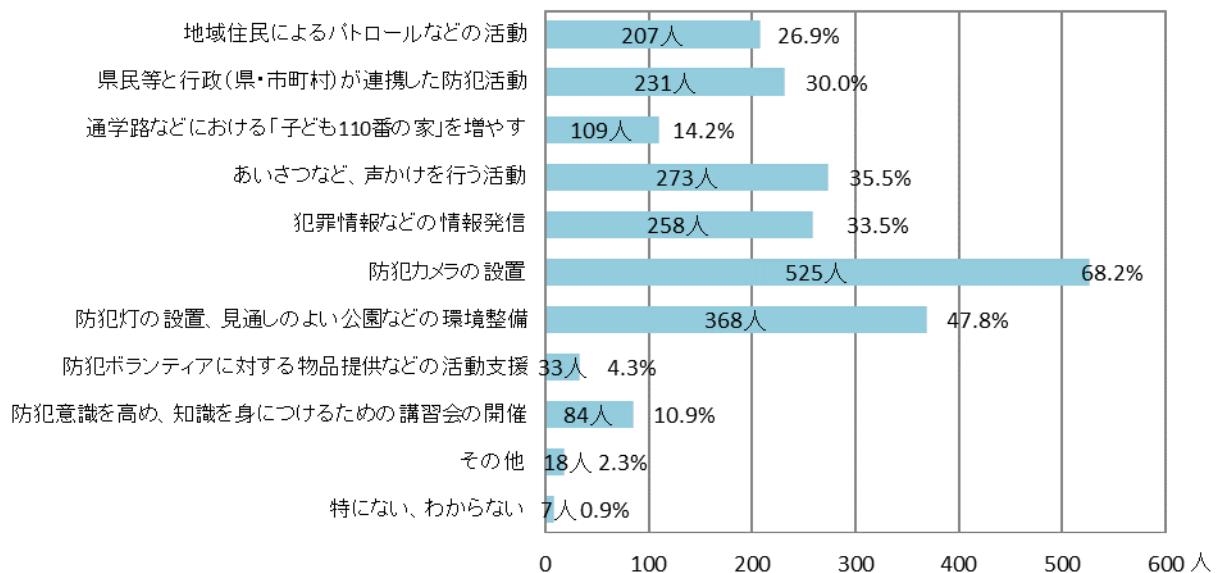


問4 あなたは、安全で安心な地域社会をつくるために、特にどのような取組みが効果的であると思いますか。（3つまで複数回答／回答者 770人）

	回答数	割合
地域住民によるパトロールなどの活動	207	26.9%
県民等と行政（県・市町村）が連携した防犯活動	231	30.0%
通学路などにおける「子ども110番の家」を増やす	109	14.2%
あいさつなど、声かけを行う活動	273	35.5%
犯罪情報などの情報発信	258	33.5%
防犯カメラの設置	525	68.2%
防犯灯の設置や、見通しのよい公園・防犯面に配慮した住宅街などの環境整備	368	47.8%
防犯ボランティアに対する物品提供などの活動支援	33	4.3%
防犯意識を高め、知識を身につけるための講習会の開催	84	10.9%
その他	18	2.3%
特はない、わからない	7	0.9%
計	2,113	

※「その他」の意見

- ・近隣住民が日頃から交流を図り、顔も知らないといった状況を作らないこと
- ・警察によるパトロール強化 など

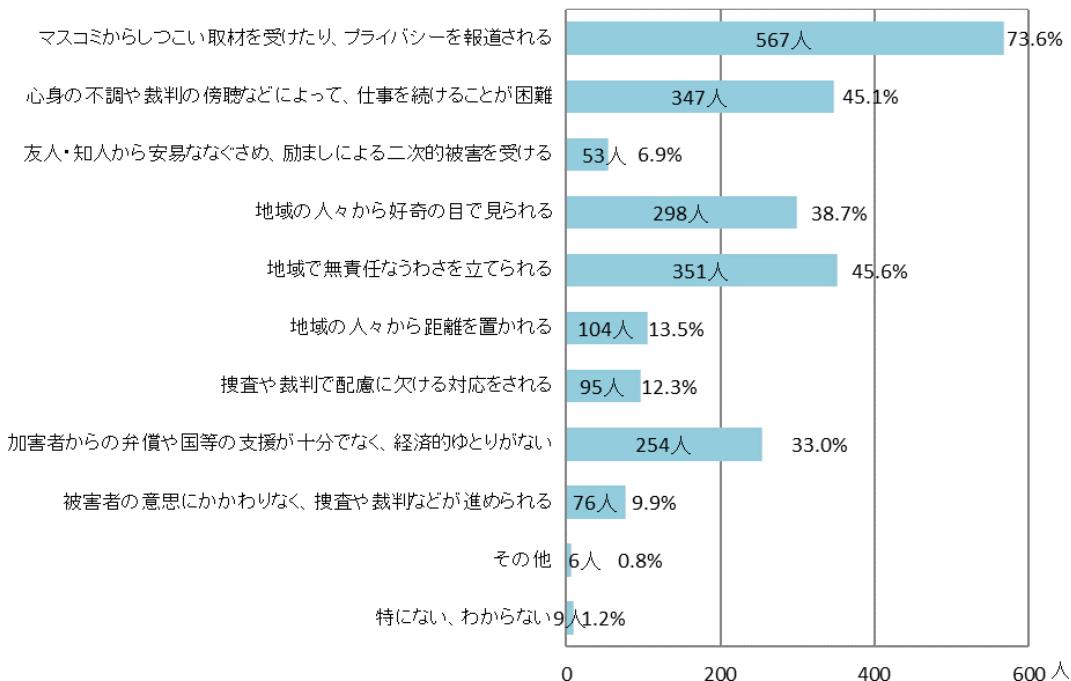


問5 あなたは、殺人や傷害など重大な犯罪の被害者やその家族が、どのような状況におかれていると思いますか。（3つまで複数回答／回答者770人）

	回答数	割合
マスコミからしつこい取材を受け、事件に直接関係のないプライバシーや事実でないことが報道される	567	73.6%
心身の不調や裁判の傍聴などによって、仕事を続けることが困難になる、離職を余儀なくされる	347	45.1%
友人・知人から安易ななぐさめ、励ましによる二次的被害を受ける	53	6.9%
地域の人々から好奇の目で見られる	298	38.7%
地域で無責任なうわさを立てられる	351	45.6%
地域の人々から距離を置かれる	104	13.5%
捜査や裁判で配慮に欠ける対応をされる	95	12.3%
加害者からの賠償を受けられない、公的な支援が不十分で、経済的にゆとりがない	254	33.0%
犯罪被害者やその家族、遺族の意思にかかわりなく、捜査や裁判などの手続きが進められる	76	9.9%
その他	6	0.8%
特はない、わからない	9	1.2%
計	2,160	

※「その他」の意見

被害者よりも犯罪をおかした加害者の方が守られている
被害者が納得できていないなど
・自宅に住めなかったり、転職を余儀なくされる。など



問6 県による犯罪のない安全・安心まちづくりの推進について、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（回答者249人、主なものを掲載）

○地域コミュニティの活性化

- ・昔みたいに近所のつながりが大切
- ・自治会への入会
- ・平素の近所の声掛けや、見慣れない人がいたら、挨拶をする

○防犯ボランティア

- ・防犯パトロールがあるといい
- ・多くの住民が犯罪防止の為に隣通し、ご近所が意識し合い、パトロールや声掛けを積極的に行う。

○地域と行政の連携

- ・地域の見守り活動や自治体との連携を強化し、「人の目」と「機械の目」の両面から犯罪を未然に防ぐ体制を整えること

○広報啓発、講習会

- ・小学校などで防犯に関する講演会などを定期的に行って欲しい
- ・ネット犯罪・特殊詐欺が増えている中、事例紹介など積極的な情報発信をしてほしい

○環境整備

- ・街灯の設置など明るい道路を作る事
- ・空き家や荒地の管理をして、犯罪しにくい整備された環境づくりを行う
- ・自然環境に影響の無い街灯を増やして、犯罪予防や防止のために防犯カメラも増やして欲しい
- ・街灯などを設置して明るい環境にする
- ・子ども110番の家はとてもありがたい

○児童、生徒への教育

- ・性犯罪に巻き込まれないような教育も始めて欲しい
- ・小中学生に対しての教育啓蒙活動の実施

○子どもの安全

- ・不審者情報など詳しく早めに教えてほしい

○交通違反対策

- ・交通安全施設の設置
- ・子どもの巻き込まれる犯罪への対応や、子ども自身への防犯意識向上のための取り組みに力を入れていただきたい

○警察

- ・夜間の警察のパトロールカーでの巡回を増やして欲しい
- ・警察署や交番は入りづらかったり、緊張してしまうイメージです。もっと利用しやすい雰囲気であればと思う。

○その他

- ・犯罪=外国人の風潮も心配。外国人就労者とのコミュニケーションも必要ではないか。
- ・教員の中に問題行動や犯罪歴がある人が、経歴を隠し普通に教員として働いている事に不安を感じます。勤務地の県や市町を変えると、問題行動や犯罪歴をごまかせると知り不安である。
- ・被害者・辛い立場の人をサポートするのが公的機関の役割だと思う。公的機関の職員は、辛い立場に置かれている人を、冷たくらい回しにしてはならない。被害者が泣き寝入りして、犯罪者が守られてしまうような社会、国であってはならない。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。